

12.8 不当弾圧抗議緊急集会

反戦と反本陣のための集い

映画。砂川反戦戦壕行動隊
市大病院の臨終

講演。中島誠

私たちは、十二月十五日（日）大新支配体制弾劾庶民委員会
をこなす行ないました。
これには、救護父兄会のお母さんや、市民、労働者、学生
など約三千名が加わり、古田と結託した佐下の訪米阻止、日
大新支配体制弾劾を呼びました。
行動隊は、終始右側時には、両側規制を行ない、コソキ
回し、夕方になぐりかかるといふ暴行をくり返しました。
デモコースは、意図的に三度も変更され、五列縦隊の許可
条件も、四列がやつとという状態だったので、
こうした中で、市民三名、学生三名が、まったく不当に逮捕
されたのです。
私たちは、ただむりやり、押し通そうとする警察に反対
し、佐下の後援会長である古田の雇傭り体制を認めがたいと
いう意思を表明しただけです。
しかも、解散直後、爆発物を投げた疑いといふこと、金貨
ハンドバックやポケットの中まで、身体検査を三度に行い
ましたのです。
私たちは、全人民的意志の表示であるこの警察暴行、デモ
への口コソキと弾圧を許すことばできません。
この真相を伝えるために、相演と映画の集いを十二月八日に
開きます。
ぜひ参加を！

主催 日大身身救護会
星アロタクシヨウ

